

2024年度「実務者向けデジタル人材育成講座」

2024 年度「実務者向けデジタル人材育成講座」の受講者を下記のとおり募集します。

本講座は、DX(デジタルトランスフォーメーション)時代に必須のデータサイエンスの全体像を知ることを目的に、従来の統計学を中心とした講座とは違い「データサイエンスで何ができるのか」など、実務者が直接役立つことを念頭にいた講座となっています。日々進化を続ける生成 AI (ChatGPT) などの新たな技術も取り上げます。

講座は「講義」と「演習」からなり、講義内容の実践的な部分を演習で体験して頂きます。なお、「講義演習」、「講義のみ」の2つの受講コースから選択可能です。

入門者向けの内容となっていますので、「講義」では事前知識の必要なく、「演習」は日常的にPCを使っている方なら参加可能です。文系・理系を問わず、多くの方のお申込みをお待ちしております。

<参考> 2023 年度受講者アンケート結果

<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/ec453f9cf8a61f096d836ec9ad15702a.pdf>

【講 師】富山大学 名誉教授・特別研究教授 中川 大 氏 (第一種情報処理技術者)

【講座形態】web 会議ツール「Zoom」を使用したオンライン講座

※開催日に受講できなかった方は、録画配信でご視聴頂けます。

<注意事項>

- ・受講予定場所で Zoom が使用可能な環境か確認の上お申込みください。
- ・演習の後半にプログラム言語の Python を使って AI を体験頂きます。
Python はフリーソフトで動作しますが、インストールが必要なため各社のセキュリティ制限等をご確認ください。(フリーソフト等は下記 URL 参照)

<https://ds-hokuriku.com/annai.html>

【講座日程と内容】

2024 年 7 月 10 日(水)～7 月 31 日(水)の毎週水曜日 (全 4 回)

(講義)14:00～15:25 (演習)15:40～17:00

講座内容は **2024 年度「実務者向けデジタル人材育成講座」**をご覧ください。

【受講料】・講義演習コース ￥40,000(税込) ・講義のみコース ￥24,000(税込)

※申込後、受講料振込についてご案内致します。銀行口座振込手数料は受講者でご負担ください。

【募集期間】2024 年 5 月 14 日(火)受付開始 ～ 6 月 21 日(金)締切

【お申込先】下記 URL のページよりお申込みください。

<https://ds-hokuriku.com/entry.html>

※北陸経済連合会・(一財)北陸産業活性化センターの会員以外の方もお申込頂けます。

【募集定員】80名(先着順)

【お問合せ】本講座に関するご質問等は、下記の問合せ専用メールアドレスにてお問合せください。

(講座事務局) toiawase@ds-hokuriku.com



2024 年度「実務者向けデジタル人材育成講座」の内容

講義テーマ 開催日	講義・演習の内容（予定）	講義時間 演習時間
第1回 講座の全体概要およびデータ収集・分析の基礎知識 7月10日(水)	- デジタル技術の急速な進展と、デジタルスキルの重要性 - 本講座の目標 →実務に活かせるデジタル技術の基礎知識の習得 - 近年のデータサイエンスでできること - デジタルトランスフォーメーション（D X）でまず取り組むべきこと - 大きく進展してきたデータ収集方法 - 公的データの活用。国の統計（e-stat）、オープンデータ - ビジネスに活用できるデータベースの数々 - D Xに向けて「良いデータベースと悪いデータベース」 - 統計計算も Excel で簡単。平均・クロス集計・回帰分析・統計的検定 【演習 1】データベースの作成と分析 (1) D Xに向けてのデータベース作成の基礎 (2) データ分析手法。クロス集計・回帰分析・検定・最大値最小値分析	講義 (85 分) 14:00～ 15:25 演習 (80 分) 15:40～ 17:00
第2回 ビジュアル系デジタル技術の基礎知識 7月17日(水)	- 急速に広がった地図の活用範囲。国土地理院デジタル地図など - ビジネスに活かせるG I S（地理情報システム） - 画像と動画の取扱いの基礎知識。ファイルの種類と特徴、ファイル容量 - web ページ（html）の基礎知識 - 数値シミュレーションとビジュアルで示す実務分析。損益分岐・資源配分 - 乱数の活用とモンテカルロシミュレーション 【演習 2】ビジュアル系デジタル技術の応用 (1) web ページを実際に作成しよう。地図や写真入りのページも (2) 数値シミュレーションと最適化を体験する。 (3) G I S で統計データを地図上に表示する。	同 上
第3回 プログラミングの基礎知識とA I・機械学習の簡単な応用 7月24日(水)	- プログラミングを学ぶ。プログラムが行っている仕事 - コピーアンドペーストで使える最近のプログラム - いま流行のプログラム Python を体験。Python の基礎的な使い方。 - ライブラリーや API の活用で様々なことができる。 - 汎用的なA I・機械学習ツールの使い方（機械翻訳・音声合成など） - 生成A I (ChatGPT)をビジネスに活かすには 【演習 3】プログラミングを体験しよう（A I 関連は演習 4 で） (1) スクラッチ（小学校で習うプログラム）でプログラムの考え方を習得 (2) Python の基礎練習 (3) Python の応用（機械翻訳・音声合成などを試してみる）	同 上
第4回 A I・機械学習の内容理解とセンサー・通信・I o Tの基礎知識 7月31日(水)	- A I・機械学習の一般的な流れ - A I と従来手法の違い - ニューラルネットワークとディープラーニング - データサイエンスの進展を支えるセンサー技術 - センサー・I o T機器としてのスマートフォン - 拡大・多様化するデータ通信 - 急速に進展するI o T 【演習 4】A I を実際に使ってみる。 (1) 簡単に学べるA I・機械学習ツール (2) Python を用いてA I を実際に試してみる。(文字認識・画像認識など) (3) ChatGPT を用いたA I・機械学習モデルの構築。	同 上

- ・上記の講座内容は予定であり、一部内容を変更する場合がございますので予めご了承ください。
- ・**7月8日(月)16:00** から開講オリエンテーションを開催します。Zoom 接続確認と演習 3・演習 4 で使用するフリーソフトについて説明をします。参加は任意で、後日、内容は録画配信します。